※令和４年度以降入学生用

学校番号	103

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書道Ⅱ」　（光村図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅰで学んだことを発展させ幅広い書表現を体験し、芸術としての書について理解を深めましょう。
作品の構成や文字について、自ら考え工夫し表現する能力を身につけましょう。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
（２）書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
（３）主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書の伝統に基づき、効果的に表現する作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	漢字の書	・「篆書の学習」 篆書の成立について 逆筆、蔵鋒 字形について	a:篆書体の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 a:篆書体の古典に基づく効果的な表現の技能を身につけている。 b:篆書体の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b:篆書体の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 c:主体的に書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に書の創造的な鑑賞の活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察
		・「隷書の学習」 隷書の成立について 逆筆、蔵鋒、 波磔 字形について	a:隷書体の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 a:隷書体の古典に基づく効	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※令和４年度以降入学生用

			果的な表現の技能を身につけている。 b:隷書体の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b:隷書体の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 c:主体的に書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に書の創造的な鑑賞の活動に取り組もうとしている。			

※令和４年度以降入学生用

		・「篆刻」 朱文印の制作	a:篆刻を構成するさまざまな要素、書体・書風や配字等による表現の効果を理解している。 a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 a:目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、書体・書風、配字等による全体の構成の技能を身につけている。 b:篆刻の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 b:作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c:主体的に篆刻の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に篆刻の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※令和４年度以降入学生用

2学期	漢字の書	・「行書の学習」 ・「草書の学習」 ・「楷書の学習」 各書体の成立について	a:各書体の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 a:各書体の古典に基づく効果的な表現の技能を身につけている。 b:各書体の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b:各書体の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 c:主体的に書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に書の創造的な鑑賞の活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※令和４年度以降入学生用

	仮名の書	・「仮名の書」 古典の臨書 百人一首を創作する	a:仮名の書を構成するさまざまな要素や、仮名の古筆の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 a:仮名の古筆に基づく効果的な表現の技能、墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身につけている。 b:仮名の古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b:仮名の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 c:主体的に仮名の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に仮名の書の創造的な鑑賞の活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※令和４年度以降入学生用

3学期	漢字仮名交じりの書	・「漢字仮名交じりの書」 漢字仮名交じりの書の表現 書体、線の太細、墨の潤渇、構成などの工夫 創作	a:漢字仮名交じりの書を構成するさまざまな要素や、名筆や現代のさまざまな書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の特質とその歴史、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 a:目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身につけている。 b:目的や用途、表現形式に応じた全体の構成，感興や意図に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 c:主体的に漢字仮名交じり書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な鑑賞の活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度